



### 決勝戦で涙を呑む 野球部

夏を占う、春季東北地区高校野球岩手大会が久慈地区で開催。本校は、3年連続優勝を狙って出場。

緒戦は、今春選抜出場の盛大附戦。最小のチャンスを生かし、力投を重ねて決勝まで駒を進め、優勝を目前にするも、この試合のみ歯車が噛み合わず、地元「利」さらわれる。



### バスケットボール部 価値ある第3位

松本旬平新監督が就任しての初の高総体。キャプテンの柳澤選手を中心に、山蔭選手・瀬川選手・筑後選手・千田選手が牽引し、2年の池田選手・宮沢選手が、苦しい場面でチームを支える。

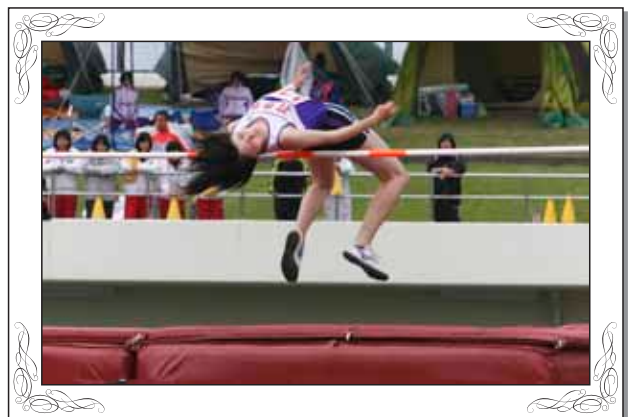
スタンドは千田父母会長はじめ父母応援団など、みんなの活躍と力で勝ち取った、価値のある第3位。



### 韓国教員訪日研修団来校す

「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、受験教育と全人的教育や道徳心の育成に力を入れている学校を見学したいと、韓国各地の教員20名が来校。

4時間ほど滞在し、授業や施設見学の後、本校教員と日韓の教育制度やその実態について意見交換を行なう。



### 中村選手、沖縄高総体出場を決める

中村茂美選手は、4月の「みちのく春季陸上」女子走高跳において1M56の自己新で優勝。そして5月の県高総体でも1M59をクリアして優勝。

さらに6月の東北高校陸上では、3回目の跳躍で1M60をとうとう成功させ、第3位を獲得。沖縄インターハイへの出場権をもぎ取る。